

東アジア国際言語学会第5回会報

2021年3月

文責：王学群

東アジア国際言語学会第8回大会は、2月27日(土)・28日(日)に成功の裏に開催されました。全く皆様のご尽力の賜物です。ここに心からお礼を申し上げます。以下は、この2年間に行った重要な事項を第5回会報に記録いたしました。

1. 2020年2月2・3日大会について

2020年2月2日(日)・3日(月)に予定されていた第8回大会は新型コロナウイルス感染拡大を予防するため、延期となりました。当時のご案内とプログラムは下記のとおりです。

1) 東アジア国際言語学会第8回大会のご案内(ホームページ用)

標記の件、下記のとおりお知らせ致します。会員各位におかれましては万障お繰り合わせのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日時

2020年2月2日(日)・3日(月) 8:30~18:30

会場

大東文化会館ホール (JR池袋駅より東武東上線各駅停車東武練馬駅下車、徒歩4分)

大会参加費

1,000円 (会員、非会員共通)

2) 東アジア国際言語学会第8回大会についてのお知らせ(会員用)

2019年12月10日(木)

東アジア国際言語学会会員各位

東アジア国際言語学会会長 王学群

標記の件、下記のとおりお送り致します。会員各位におかれましては万障お繰り合わせのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日時：2020年2月2日(日)・3日(月) 8:30~18:30

会場：大東文化会館ホール (JR池袋駅より東武東上線各駅停車東武練馬駅下車、徒歩4分)

プログラム：別紙参照

第8回大会参加費：1,000円 (会員、非会員共通)

※1. 研究発表者の各位におかれましては資料を70部ご用意くださり当日お持ちください。

※2. 研究発表者はメール(添付)で1週間前に発表用の資料を司会者にお送りください。

※3. 年間会費(社会人：4,000円、院生・学生：2,000円)を受け付けます。また、新入会員の受け付けも致します。

※4. 学会誌：当日は年間会費をお支払いの会員の皆様に学会誌(『東アジア国際言語研究』第1号)をお渡しいたします。

※5. 懇親会：参加者の皆様が主人公となる暖かい懇親会です。(日時：2月2日(日)18:30~20:30 場所：大東文化会館 K302、会費：1,000円)

※6. 開会の辞・閉会の辞・司会の担当者、研究発表者、特別講演者の皆様に対しては、担当当日分だけ粗餐(昼食)をご用意させていただきます。

以上

3) プログラム

東アジア国際言語学会第8回大会2月2日(日)プログラム(2019年度)

日時: 2020年2月2日(日) 午前8時30分より午後6時30分

参加費: 1,000円(2, 3日共通、会員・非会員共通)

受付(8:30-)

総合司会 竹島 毅(大東文化大学)

開会の辞 高橋弥守彦(大東文化大学名誉教授) 8:50-9:00

1. 心理的「VNする」と「VNがする」について 9:00-9:25

傅 夢菊(筑波大学・院)

2. 通言語的観点から見た日本語目的節のストラテジー 9:25-9:50

叶 琮(上海師範大学)

3. 共通語における「じゃん」についての一考察 9:50-10:15

凌 飛(専修大学・院)

司会: 白石裕一(中央大学・兼任講師)

休憩(10分 10:15-10:25)

4. 日本語における「Lに+NPが+Vている」構文と動詞の容認度に関する一考察 10:25-10:50

賈 兆昆(清華大学・院)

5. 対象の移動を表す他動詞の日中対照研究——アスペクトの視点から—— 10:50-11:15

趙 金昌(筑波大学・院)

6. 極限のとりたて助詞と“(連)～都/也”の対照研究 11:15-11:40

刘 胭脂(上海外国語大学)

7. 始動局面の対照研究 11:40-12:05

時 衛国(山東大学)

司会: 須田義治(大東文化大学)

昼休み(60分 近くに食堂多数あり 12:05-13:05)

8. ポライトネスのストラテジーとしての「くりかえし」をめぐる——中日のあいさつ表現を中心に 13:05-13:30

彭 広陸(陝西師範大学)

9. 『日本学研究会叢書第七巻 漢日語言対比研究』の序「中日比較対照言語研究のありかた」を解釈して 13:30-13:55

呉 大綱(上海外国語大学)

司会: 大島吉郎(大東文化大学)

休憩(10分 13:55-14:05)

[特別講演]

(1) 語りコトバの重要性 14:05-14:15

鈴木康之(大東文化大学名誉教授)

(2) 命題とモダリティの視点から見る“怎么”の意味分化とその周辺 14:15-15:00

王 亜新(東洋大学)

(3) 日中翻訳に寄せて 15:00-15:45

続 三義(東洋大学)

(4) 形式語「もの」「こと」の文法と意味——日本語教育の観点から 15:45-16:30

高橋雄一(専修大学)

司会: 王 学群(東洋大学)

休憩(10分 16:30-16:40)

10. 中国語における“把个”構文の意味及び変遷について 16:40-17:05

小路口ゆみ(跡見学園女子大学・非)

11. 実例で説明する中国語文法指導テクニックの応用——「才」と「就」を例にして—— 17:05-17:30

畢 文涛 王天予(北京語言大学東京校)

12. 中国語の補語について 17:30-17:55

高橋弥守彦(大東文化大学名誉教授)

司会: 丁 峰(大東文化大学)

閉会の辞 鈴木 泰(東京大学名誉教授) 17:55-18:05

総会 18:05-18:30

※当日の入会申し込み及び学会費(年会費: 社会人: 4000円、院生: 2000円)の受け付けも致します。

※懇親会(日時: 2月2日(日)18:30-20:30、場所: 大東文化会館、会費: 1,000円)

※本プログラムは今後多少変更する場合があります。

東アジア国際言語学会第8回大会2月3日(月)プログラム(2019年度)

日時: 2020年2月3日(月)午前8時40分より午後6時05分

受付(8:40-)

総合司会 石井宏明(東海大学・非常勤講師)

開会の辞 田中 寛(大東文化大学)

9:00-9:10

1. 「スル」+「テモ」形式及び関連表現の連続性についての研究—参照点モデルの視点から—

9:10-9:35

孫 宇雷(中山大學)

2. 事実条件文の述語動詞に関する調査と考察

9:35-10:00

孟 慧(専修大学・院)

3. 推量表現「のだろう」の確信度に関する考察

10:00-10:25

曹 銀閣(上海外国語大学・院)

司会: 福本陽介(名古屋産業大学)

休憩(10分: 10:25-10:35)

4. 日本語の無主語文の本質—中国語との比較を兼ねて—

10:35-11:00

魯 美玲(上海外国語大学・院)

5. なぜ中国語を母語とする日本語学習者は日本語の文章を読めないのか—母語の読解経験に注目する場合—

11:00-11:25

王 棟(東京外国語大学・院)

6. 日中「笑い」オノマトペの使用実態について

11:25-11:50

孫 逸(筑波大学・院)

司会: 安本真弓(跡見学園女子大学)

昼休み(60分 近くに食堂多数あり 11:50-12:50)

7. 場所格「に」と「で」について

12:50-13:15

段 啓雲(上海外国語大学・院)

8. 空間の起点を表す格助詞ヲとカラの違いについて

13:15-13:40

朴 仙灵(鄭州大学)

9. 授受表現「NP₁にNP₂をもらう」における格助詞「に」のメカニズム

13:40-15:05

范 寛(清華大学・院)、趙蓉(清華大学)

司会: 松浦恵津子(松蔭大学)

休憩(10分 15:05-15:15)

10. 中国語結果複合動詞と日本語の自他動詞との対照研究

15:15-15:40

郭 帥(上海外国語大学・院)

11. 中両言語における結果目的語に関する一考察

15:40-15:05

許 瑶瑶(上海外国語大学・院)

12. 動詞“过”の語義分析について—「到達義」を中心に—

15:05-15:30

蘇 秋韵(大東文化大学・院)

司会: 戦 慶勝(鹿児島国際大学)

休憩(10分 15:30-15:40)

13. 中国語の数量名構造について—意味範疇及び発話者視点から—

15:40-16:05

洪 安瀾(閩南師範大学)

14. 古典中国語から意味も副詞的用法も受け容れた量語形漢語副詞の変化について—「少々」を中心に—

16:05-16:30

蔡 嘉昱(筑波大学・院)

15. 金国璞北京語教科書における介詞使用——《儿女英雄伝》との比較

16:30-16:55

楊璇(大東文化大学・院)

司会: 統 三義(東洋大学)

休憩(10分 16:55-17:05)

16. 日本語の第三者の受身文に関する再考

17:05-17:30

劉 爾瑟(上海建橋学院)

17. 很肉」と「肉肉しい」から見る日中両言語の違い——名詞の形容詞化を中心に

17:30-17:55

畢 曉燕(首都師範大学)

司会: 時 衛国(山東大学)

閉会の辞 彭 広陸(陝西師範大学)

17:55-18:05

※当日の入会申し込み及び学会費(年会費: 社会人: 4000円、院生: 2000円)の受け付けも致します。

※本プログラムは今後多少変更する場合があります。

2. 東アジア国際言語学会第8回大会再開催について

ご周知のように、常務理事・理事拡大メール会議で議論した結果、延期されていた第8回大会は、2021年2月27日(土)・28日(日)にオンライン(Zoom)形式で盛大に再開催されました。そのご案内とプログラムは下記のとおりです。

1) 東アジア国際言語学会第8回大会のご案内(ホームページ用)

標記の件、下記のとおりオンライン方式にて開催いたします。会員各位におかれましては万障お繰り合わせのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日時

2021年2月27日(土)・28日(日) 8:30~18:00

開催形式

オンライン会議(Zoom)

※参加情報については会員・発表者・講演者には事務局よりメールでお知らせ済みです

※非会員の方はこちらから参加申し込みをお願いします

参加費

無料(会員、非会員共通)

2) 東アジア国際言語学会第8回大会研究発表募集のお知らせ(会員用)

2020年11月26日(土)

東アジア国際言語学会会員各位

東アジア国際言語学会会長 王学群

2020年2月2日(日)・3日(月)に2019年度東アジア国際言語学会第8回大会が開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のためやむなく延期となりました。この大会で研究発表をする予定だった会員・非会員の方々に改めてお詫びを申し上げます。

本学会は試験的に9月からオンライン(Zoom)での月例会を数回開催いたしました。それを踏まえて理事・常務理事拡大メール会議で議論した結果、延期されていた第8回大会をオンライン(Zoom)形式で再開催することに決めました。つきましては、その再開催の大会でご発表いただけるという方は、2021年1月15日(日)までに東洋大学の王学群(ohgakubun@toyo.jp)まで、研究発表のテーマに500字程度の概要を添えてメールでお申し込みいただけますでしょうか。

また、毎月開催される月例会の研究発表も、随時募集いたしております。こちらは大島吉郎(pal1kdz@yahoo.co.jp)までご連絡ください。なお、入会の手続きは、ホームページの「入会登録」をご利用いただけます(年会費:教員・一般4000円、学生・院生2000円)。

研究発表範囲

日本語・中国語・韓国語を中心とした語彙や文法などの研究、あるいは、それらに関する教育方法の研究
申し込み締め切り

2021年01月15日(月) (テーマと概要提出)

発表時間

35分(発表25分、質疑応答10分)

申込先

王学群(ohgakubun@toyo.jp)

開催日時

2021年2月27日(土)・28日(日)

開催形式

オンライン(Zoom)

参加費

無料

3) プログラム

東アジア国際言語学会第8回大会2月27日(土) プログラム (2020年度)

受付 (8:30-)

総合司会 大島吉郎 (大東文化大学)

開会の辞 王学群 (東洋大学)

08:50-09:00

1. 日本語母語とする初級中国語学習者の自由作文に見られる語順の研究

09:00-09:30

福田翔 (富山大学)・許臨揚 (蘇州科技大学)

2. 初級レベルにおける存現文の教え方について——「出現・消失」を中心に——

09:30-10:00

胡敏男 (北京語言大学東京校)

3. 実例で説明する中国語文法指導テクニックの応用——“就”と“才”を例にして——

10:00-10:30

畢文涛・王天予 (北京語言大学東京校)

司会：白石裕一 (中央大学・兼任講師)

休憩 (10分 10:30-10:40)

4. 近代日本人編纂上海語教科書における“拿”構文

10:40-11:10

任菲 (大東文化大学・院)

5. 廣韻の増訂部分と《玉篇》の関係——《玉韻》との比較に基づいて

11:10-11:40

周歴 (大東文化大学・院)

6. 中国語の形容詞と程度副詞の関係性——『紅樓夢』前八十回を中心に

11:40-12:10

胡春艷 (大東文化大学・院、東北石油大学)

司会：丁 鋒 (大東文化大学)

昼休み (50分 12:10-13:00)

7. 反事実仮定文の日中対訳研究 ——「要不是」に訳される日本語文型を中心に

13:00-13:30

劉志穎 (大連理工大学・院)

8. 事実条件文の述語動詞に関する調査と考察

13:30-14:00

孟慧 (専修大学・非)

9. 重複型デモ文における日中対照研究

14:00-14:30

朴徳華 (大連理工大学・院)

司会：時 衛国 (山東大学)

休憩 (10分 14:30-14:40)

10. 「多い」の連体修飾用法について——「多い+N」「多くの+N」の比較を中心に

14:40-15:10

王瑞敏 (上海外国語大学・院)

11. 結果目的語構文に関する再考察

15:10-15:40

許瑶瑶 (上海外国語大学・院)

12. VにV構文における動詞Vの使用に関する一考察

15:40-16:10

劉玉玲 (上海外国語大学・院)

司会：松浦恵津子 (松蔭大学)

休憩 (10分 16:10-16:20)

13. 《水浒传》に現れる“过”の用法について

16:20-16:50

蘇秋韵 (日本グローバル専門学校・非)

14. 連体修飾節の日中対照研究——非限定的修飾を中心に

16:50-17:20

馬雨童 (上海外国語大学・院)

15. 関数検定から見るラシイ形式についての翻訳傾向の計量研究

17:20-17:50

王瀚瑩 (大連理工大学・院)・李光赫 (大連理工大学)

司会：石井宏明 (東海大学非常勤講師)

閉会の辞 鈴木 泰 (東京大学名誉教授)

17:50-18:00

※本プログラムは今後多少変更する場合があります。

東アジア国際言語学会第8回大会2月28日(日)プログラム(2020年度)

受付(8:50-)

総合司会 大島吉郎(大東文化大学)

開会の辞 彭 広陸(北京理工大学) 09:20-09:30

1. 高校生向けの日本語教育方法の研究 09:30-10:00

楊怡璇(西安外国語大学・院)

2. 日本語教育において「じゃん」を学習項目とする必要性について 10:00-10:30

凌飛(専修大学・非)

3. 日本語様態存在文における名詞項に関する一研究 10:30-11:00

賈兆昆(清華大学・院)

司会: 福本陽介(名古屋短期大学)

休憩(10分: 11:00-11:10)

4. おいしさを表す五感の表現とその動機づけ 11:10-11:40

武藤彩加(中部大学)

5. 日中感情オノマトペの使用実態について—「笑い」表現を中心に— 11:40-12:10

孫逸(筑波大学・院)

司会: 安本真弓(跡見学園女子大学)

昼休み(50分: 12:10-13:00)

[特別講演]

(1) 語りのコトバの重要性 13:00-13:35

鈴木康之(大東文化大学名誉教授)・迫田(呉)幸栄(二松学舎大学准教授)

(2) 現代日本語の連体形式の副詞節について 13:35-14:20

高橋雄一(専修大学教授)

司会: 須田義治(大東文化大学)

休憩(10分 14:20-14:30)

(3) 命題とモダリティの視点から見る“怎么”の意味分化とその周辺 14:30-15:15

王 亜新(東洋大学名誉教授)

(4) 日中翻訳——『天声人語』(2017.3.12)を例に 15:15-16:00

続 三義(東洋大学元教授)

司会: 王 学群(東洋大学)

休憩(10分 16:00-16:10)

6. 「極限」についての一考察 16:10-16:40

刘胭脂(上海外国語大学・院)

7. 日中両言語における空間表現について 16:40-17:10

洪安瀾(閩南師範大学)

8. 姿勢動詞における視点のあり方——中日対照を中心に 17:10-17:40

彭広陸(北京理工大学)

司会: 戦 慶勝(鹿児島国際大学)

閉会の辞 高橋弥守彦(大東文化大学名誉教授) 17:40-17:50

※本プログラムは今後多少変更する場合があります。

3. 拡大常務理事会と総会(メール会議方式)

新型コロナウイルス感染が急速に拡大されたため、常務理事拡大会議と総会を余儀なくメール会議という形で開催いたしました。主な内容は次のとおりです。

3.1 審議事項

以下は、主に2020年11月11日と2021年1月30日に開催された常務理事拡大メール会議で審議された内容です。

その1. 東アジア国際言語学会の組織体制について

1) 会則改定

東アジアを中心とする学会という国際性から会則第10条の1の(2)副会長「2名」を「若干名」に改定する。

2) 会長任期満了に伴う新会長と副会長などの選出

新しい会長：須田義治(大東文化大学教授)

副会長：王学群(東洋大学教授)、大島吉郎(大東文化大学教授)、時衛国(山東大学教授)

事務局長：大島吉郎(大東文化大学教授) 副事務局長：小路口ゆみ(跡見学園女子大学・非)

編集長：王学群(東洋大学教授)； 査読委員長：時衛国(山東大学教授)

顧問：田中寛(大東文化大学教授)

3) 新しい理事の選出

中国地区理事：呉大綱(上海外国語大学教授)、盛文忠(上海外国語大学教授)、趙蓉(清華大学副教授)、金満生(北京外国語大学副教授)

日本地区理事：戦慶勝(鹿児島国際大学教授)、彭飛(京都外国語大学教授)、佐々木俊雄(上智大学・非)

注：副会長については今までの経験から、それぞれの担当部分を明確化している。

4) 投稿規定の改定とテンプレートの導入

編集作業を減らすため、第2号より実施している。(追認事項)。

5) 国外へ発送する招待状等(実費で必要な方に請求する)

中国などから来日するとき、招待状が必要な場合がある。その費用は先方に負担していただく。

6) 今後発表者がさらに増えた場合、分科会で開催する

発表者が多いというのはここ数年の傾向だが、どうしても2日でも無理な場合、分科会で発表していただく。

6) 大会開催について

来年2021年2月末か3月始めかにオンライン(Zoom)で大会を開催する。2019年度第8回大会発表者を優先する。いま、Zoomでの月例会を3回ほど実施している。いずれも大成功だった。中国からの参加者も少なくない。

7) 第8回大会を2021年2月27日・28日に再開催する。

3.2 決算と予算

第8回大会が延長されたため、ご審議いただく予算と決算はあわせて四つに増えています。それぞれは、下記のとおりです。

国際連語論学会 2019 年度総会会計報告

1) 2018 年度決算書


(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 現在) (単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
前年度繰越金	166,563	166,563	0	学会誌制作費	100,000	127,116	-27,116
年会費							
一般会員	120,000	220,000	100,000	ホームページ管理費	4,043	4,043	0
院生会員	40,000	58,000	18,000	通信費	10,000	7,507	2,493
				事務管理費	10,000	540	9,460
大会参加費	40,000	65,000	25,000	大会開催費	60,000	47,747	12,253
懇親会参加費	20,000	20,000	0	懇親会開催費	20,000	25,526	-5,526
講演会参加費(7.29)	0	16,500	16,500	講演料	0	30,000	-30,000
寄付金(矢澤真人先生から)	0	10,000	10,000	講演会開催費	0	1,101	-1,101
				小計	204,043	243,580	-39,537
書籍売上	0	13,000	13,000	次年度繰越金	182,520	325,483	-142,963
収入合計:	386,563	569,063	182,500	支出合計	386,563	569,063	-182,500

監査報告

監査の結果、2018 年度決算報告は適正であることを認めます。

2020 年 1 月 10 日

監査: 白石裕一 

監査: 蔡娟 

東アジア国際言語学会 2020 年度総会会計報告

2) 2019 年度決算書

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31) (単位：円)


収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
前年度繰越金	325,483	325,483	0	学会誌制作費	130,000	103,950	26,050
年会費							
一般会員	120,000	140,000	20,000	ホームページ管理費	4,043	4,117	-74
院生会員	30,000	24,000	-6,000	通信費	20,000	2,560	17,440
				事務管理費	5,000	6,144	-1,144
大会参加費	50,000	0	-50,000	大会開催費	50,000	0	50,000
懇親会参加費	30,000	0	-30,000	懇親会開催費	30,000	0	30,000
雑収入(利息)	0	1	1				
				小計	239,043	116,771	122,272
				次年度繰越金	316,440	372,713	-56,273
収入合計:	555,483	489,484	-65,999	支出合計	555,483	489,484	65,999


注：コロナのために、2019年度大会を開催しなかったため、懇親会参加費、大会開催費、懇親会開催費を予算していましたが、決算はゼロです。

監査報告

監査の結果、2019年度決算報告は適正であることを認めます。

2020 年 12 月 18 日

監査: 白石裕一 

監査: 蔡娟 

3) 2020 年度収支状況報告書(2020 年11 月12 日現在)

(2020 年4 月1 日～2020 年11 月12 現在) (単位 :円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
前年度繰越金	372,713	372,713	0	学会誌制作費	130,000	?	130,000
年会費							
一般会員	120,000	216,000	12,000	ホームページ管理費	4,117	2,216	1,901
院生会員	40,000	34,000	-16,000	通信費	10,000	19,050	-9,050
				事務管理費	5,000	320	4,680
大会参加費	50,000	?	-50,000	大会開催費	50,000	?	50,000
懇親会参加費	30,000	?	-30,000	懇親会開催費	30,000	?	30,000
				小計	229,117	21,586	207,531
				次年度繰越金	383,596	593,127	-207,531
収入合計:	612,713	614,713	2,000	支出合計	612,713	614,713	2,000

注1 : 懇親会参加費、大会開催費、懇親会開催費の差異はまだ未知ですが、表の数値 が合致するよ
うに、ひとまず書きましたが、暫定的なものとしてお考えください。注2 : “?” と書いてあるところ
については、まだ費用が発生していないので、零として計算して います。

4) 2021 年度予算案

(2021 年4 月1 日～2022 年3 月31 日) (単位: 円)

収入の部		支出の部	
科 目	予 算	科 目	予 算
前年度繰越金		学会誌制作費	110,000
		ホームページ管理費	4,117
年 会 費		通信費	20,000
一般会員	160,000	事務管理費	10,000
院生会員	40,000	大会開催費	50,000
		懇親会開催費	30,000
大会参加費	50,000		
懇親会参加費	30,000		
		次年度繰越金	
収入合計	280,000	支出合計	224,117

一般会費4,000×40 人=160,000 円

院生会2,000×20 人=40,000円

3.3 報告事項

1) 学会誌第2号: 採択論文18本、特別寄稿一本、既に出版済み。

2) 学会誌の電子化について

今は、研究会報告32・34・36・38・40・42・44に掲載されている著者を全部調べたが、今後各著者に電子化に同意していただくメールを出す。創刊号は既に電子化している。

3.4 総会

上記の拡大常務理事会(メール会議方式)で審議された内容は、メール総会(2021年3月3日)でも承認されている。